

利 用 報 告 書

課 題 名	バイオコンピュータに関する基礎研究
	Basic Study on Bio-computer.
利 用 者 名	今 泉 重 夫 (社会学部 教授)
<p>1. 研究目的・内容</p> <p>現在、広く利用されているノエマン型コンピュータは性能やその機能に限界があり、利用上も種々の問題があることがわかった。それに対して生体機能を積極的に取り入れたバイオコンピュータが着目されている。その開発のための基礎研究を行っている。</p> <p>2. 研究方法・計算方法</p> <p>バイオコンピュータ用素子を生体膜・人工膜より開発し、その特性を測る研究を行っている。そのため、データ・スムージング、データ・フィテング、データ解析(SALS)などを実施している。また、計測器とコンピュータ間のネットワーク化とそれらを運転するためのデジタル制御プログラムの開発などを行ってきた。</p> <p>3. 研究成果</p> <p>必要な装置のシステム・ハードウェアの設計、製作を行い、また、装置の制御とコンピュータ・ネットワークのためのソフトウェアの改良、そのバージョンアップを行って来た。現在、システム動作のシュミレーションを続行中である。</p> <p>4. 成果発表</p> <ol style="list-style-type: none">1. 今泉重夫, 湊敏, 横田浩 “文科系大学における情報システムの構築と運用” 平成8年度情報処理教育研究集会講演論文集(文部省、名古屋工業大学主催) p142 (1996)。2. 今泉重夫 “奈良大学キャンパス情報ネットワークの構築(Ⅱ)” 奈良大学情報処理センター年報 7 p29 (1996)。3. 今泉重夫 “奈良大学キャンパス情報ネットワークの構築” 奈良大学紀要 No. 24 p145 (1996)。	